学校番号	１０３

令和２年度　地歴科

教科	地歴	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版「日本史Ａ」（山川出版）						
副教材等	最新日本史図表　三訂版（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

客観的かつ公正な資料に基づいて，事実を正確に理解し，多面的・多角的に考察し公正に判断する能力を養う。その際，核兵器などの脅威に着目し，戦争を防止し，平和で民主的な国際社会を実現することが重要な課題であることを理解する。

年表，地図その他の資料を一層活用し，地域の文化遺産，博物館や資料館の調査・見学などにも可能な限り取り組む。国民生活や文化の動向については，地域社会の様子などと関連付けるとともに，衣食住や風習・信仰などの生活文化についても学ぶようにする。

2　学習の到達目標

1　「私たちの時代と歴史」を当科目の導入として学ぶことで歴史への関心を高め，歴史を学ぶ意義について考える。「近代の追究」「現代からの探究」の学習では，適切な主題を設定し，資料を活用して歴史を考察したりその結果を表現したりする技能を高め，歴史的な見方や考え方を身に付ける。

2　序章～第２章（近代日本の形成と 19 世紀の世界）では，開国以後，明治維新を経て近代日本が急速に形成された過程を，国際環境と関連付けて理解する。

3　第３～５章（二つの世界大戦と日本）では，諸国家の対立・協調と日本，国内経済・社会の動向，アジア諸国との関係に着目して，二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化を考察する。

4　第６～８章（戦後史）では、占領下から高度成長に至る経緯、冷戦・冷戦後の国際社会と日本の関係に重点を置き、考察する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○近現代の歴史的事象と現在との結びつきを意欲的に調べ，考え，歴史を学ぶ意義に気付き，関心を持って学習に取り組めているか。 ○現代の社会が抱える諸課題について，平和で民主的な世界，地域，国，社会を形成していく当事者としての自覚を持って考える態度を身に付けているか。	○近現代の日本の歴史の展開から課題を見いだし，世界の歴史や国際環境等と関連づけて，実証的，多角的，多面的に考察しているか。 ○歴史的に形成された諸課題について，様々な理解，立場があることを踏まえ，公正に判断しているか。 ○課題についての考察や判断の過程や結果を，効果的な方法を選択して適切に表現しているか。	○近現代の日本の歴史を考察するために必要な諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択することができるか。 ○得られた資料や情報を効果的に活用し，歴史を探究する学び方を身に付けているか。	○近現代の基本的な歴史的事象に関する知識を身に付け，近代社会が成立し発展する過程を理解しているか。 ○近現代の日本の歴史の展開を，地理的条件や世界の歴史と関連づけて理解しているか。

評価方法	積極的に授業に参加しているか，ノートや課題を期限までに提出できているかなどを評価対象とする。	授業中の発表の状況などを評価対象とする。	課題・発表資料・発表の状況などを評価対象とする。	年間 5 回の定期考査などを評価対象とする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	近世社会の動揺と近代への胎動	日本史ガイダンス						
		１．幕藩体制の動揺と政治改革 ＊農村や都市が変化して幕藩体制が動揺する中で，幕府や諸藩が行った諸改革について，その特徴を理解する。		○		○	b： 天保期を中心に幕府･諸藩の諸政策を考察できたか。 d： 幕府・諸藩の経済的窮乏，百姓一揆･打ちこわしの頻発などに着目できたか。	授業中の質問に対する対応･グループ討論などノート提出 中間考査
		２．新しい経済構造と学問の芽生え ＊近代化の基盤の形成として，産業経済面・軍事面や文化・思想面などに着目し，地方からの視点も踏まえて理解する。			○	○	c: 近代化の芽生えとして統一的に考察できたか。 d: 農村家内工業からのマニュファクチュアの形成，藩政改革からの雄藩の出現，洋学・国学など新しい批判的な学問･思想の形成等の動きを理解できたか。	
		３．日本をとりまく世界の変容 ＊欧米諸国の近代化による国際情勢の大きな変容を，列強のアジア進出・日本への接近の背景として理解する。		○		○	bd： 列強の進出の強まりとともに，幕府の鎖国政策が次第に動揺を深めていく経過が理解できたか。	

	第1章　開国と明治維新	１．アジアの激動と日本の開国 ＊ペリー来航から開国に至る過程について，列強の進出による東アジア情勢の変化に着目して理解する。			○	○	ｃｄ:日米和親条約・修好通商条約の締結，開港による経済情勢の変化に着目し，それが幕末の政局に与えたインパクトを理解できたか。	授業中の質問に対する対応･グループ討論など 課題・ノート提出 学期末考査
		２．江戸幕府の滅亡 ＊尊皇攘夷・公武合体から倒幕へと急展開する幕末の複雑な政治過程を理解する。		○		○	ｂｄ：幕末の政局の展開を，高まる外圧や，世直し一揆・「ええじゃないか」に象徴される民衆の動向と関わらせて考察できたか。	
		３．明治維新 ＊大政奉還から戊辰戦争を経て廃藩置県に至る，幕末・明治初期の政治的変革と国家的統一過程を理解する。		○		○	ｂｄ：版籍奉還・廃藩置県によって封建的割拠制が克服され，統一的国家が形成されたことの意味に注目できたか。	
		４．富国強兵 ＊秩禄処分・徴兵令を，封建的身分制の解体，近代兵制の樹立として理解する。		○		○	ｂｄ:岩倉使節団の出発から留守政府による国内改革推進，征韓論争・明治六年の政変・西南戦争までを，一連の政治過程として考察できたか。	
		５．明治初期の外交 ＊琉球と樺太・千島という列島の南北端に注目し，近代日本の国境確定過程を整理する。		○		○	ｂｄ:最初の対等条約である日清修好条規と，日本が他国におしつけた不平等条約である日朝修好条規の性格の相違に注目できたか。	
		６．殖産興業と文明開化 ＊統一幣制・地租改正・殖産興業政策を，明治国家の一貫した経済近代化政策として捉え，また地租改正反対一揆などの民衆の反応にも注目する。	○	○		○	ａｂｄ:思想や教育制度から生活風俗に至る「文明開化」の諸相から，明治日本を特徴付ける性急な西欧模倣に注目できたか。	

2	第2章　立憲国家の成立	１．自由民権運動 ＊民撰議院設立の建白書に始まり，立志社・国会期成同盟の運動，政党の結成を経て，激化の諸事件に至る民権運動の展開過程を理解する。		○		○	ｂｄ：松方財政によるデフレーション，特に農村不況が，民権運動の急進化の背景をなしたことを理解できたか。	授業中の質問に対する対応･グループ討論など 課題・ノート提出 中間考査
		２．立憲制の成立 ＊政府による憲法制定作業と憲法の定めた政治原理を理解し，憲法制定に続く諸法典・地方制度・軍制・教育制度の整備について整理する。		○		○	ｂｄ：政府による憲法制定作業が国民に対して全く秘匿され，完成した憲法が一方的に国民に「与えられた」経緯を理解できたか。	
		３．立憲政治の展開 ＊初期議会から桂園時代の開幕に至るまでの国内政治の動きを，政党と藩閥の抗争などの視点から理解する。	○	○		○	ａｂｄ：立憲政友会の成立から桂園時代の開幕に至る過程について，軍備の拡張の視点を踏まえて考察できたか。	
		４．日清・日露戦争 ＊欧米諸国との対等な関係をめざして不平等条約の改正を実現し，日清・日露の両戦争を通じて東アジアに進出し，列強への仲間入りを果たした経過について理解する。	○	○		○	ａｂｄ：日露戦争における日本の「勝利」がアジア諸国の民族独立や近代化運動を刺激した反面，その後の韓国併合や満州進出の動きが，国民の対外意識や近隣諸国の受け止め方の変化につながったことについても考察できたか。	

		５．産業革命と社会の変容 ＊日清・日露戦争前後の時期に，資本主義経済の基礎が確立された過程を，産業革命の経過や紡績・製糸・鉄道などの主導部門の成長に着目して理解する。 ＊農業部門の停滞，農民の貧困や，近代産業の発展にともなう社会問題，労働問題の発生について理解する。	○	○ ○		○ ○	ｂｄ：民間の主導部門の発展ばかりでなく，国家による産業基盤整備・重工業の育成にも着目して，資本主義の確立過程を総合的に考察できたか。 ａｂｄ：寄生地主制の進展，ストライキの勃発や足尾鉱毒事件などに見られる社会運動の発生，これに対する大逆事件などの国家的弾圧に着目できたか。	
		６．明治の文化 ＊伝統的文化という基層のうえに欧米文化が模倣・導入されたことを特徴として，国民的な性格を持って成立した近代文化について，「先進世界へのキャッチアップ」という視点から理解する。	○	○		○	ａｂｄ：国家主義的な思想の形成，実証的な学問研究の発展，欧米の科学技術の導入，高い就学率を誇る教育の普及・拡充に着目して，国民が主体的に文化の創造に取り組んだ姿勢を考察できたか。	
		第３章　第一次世界大戦と日本 １．政党政治の展開 ＊２回の護憲運動を経て，政党政治が「憲政の常道」となるに至る過程を理解する。		○		○	ｂｄ：大正政変以降，政党の勢力が国民統合において中心的役割を果たすようになる事情を理解できたか。	授業中の質問に対する対応・グループ討論など 課題・ノート提出 学期末考査
		２．ワシントン体制 ＊第一次世界大戦・ロシア革命・ヴェルサイユ=ワシントン体制の成立という世界史的激動に日本がどう対処したかを整理する。		○		○	ｂｄ：ワシントン体制を，列強の仲間入りを果たした日本をアメリカ中心の協調体制に組み込むものとして理解できたか。大戦後の中国・朝鮮における民族運動の高まりに注目できたか。	

		３．経済・社会の変容 ＊第一次世界大戦によって一時的な繁栄を謳歌した日本経済が，大戦終結や関東大震災によって深刻な打撃をこうむる過程を理解する。			○	○	ｃｄ：大戦後の世界的なデモクラシーの風潮や日本の産業構造の変容（労働者の増大）を背景に，多方面で社会運動の高まりが見られたことを考察できたか。	
		４．市民文化 ＊労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の成立に着目し，都市化や国民生活の変化を踏まえて，市民文化の特色について理解する。	○	○		○	ａｂｄ：学問・芸術・出版・マスメディアなどを具体的に取り上げ，欧米文化の関わりとその浸透度，社会風潮との関連付けに着目して考察できたか。	
	第４章　昭和の恐慌と満州事変	**第４章　昭和の恐慌と満州事変** １．恐慌の時代 ＊金融恐慌から金解禁を経て昭和恐慌に至る日本経済の動揺を，世界経済との関連に注意しながら理解する。		○		○	ｂｄ：「震災手形」「金解禁」など，恐慌の展開を把握するために不可欠な経済用語に対する理解を深められたか。恐慌の中で農村に生じた危機に着目できたか。	
		２．政党内閣期の内政と外交 ＊田中・浜口両内閣期に，対外的には協調外交が，内政的には政党政治がゆきづまっていく過程を理解する。		○		○	ｂｄ：社会主義運動の高まりと，これに対する徹底した弾圧の動きを，次第に緊迫する内外情勢と関連させて考察できたか。	
		３．軍部の台頭 ＊満州事変に始まる中国侵略の本格化と五・一五事件による政党政治の終焉という内外の激動が，連動して進行する過程を理解する。		○		○	ｂｄ：天皇機関説問題や激しい弾圧による社会主義者の大量転向などを，国内の戦争反対勢力を一掃する動きとして理解できたか。	

3	第５章　第二次世界大戦と日本	**第５章　第二次世界大戦と日本** １．日中戦争 ＊二・二六事件を契機に軍部の政治的発言権が増大する中，ついに中国との全面戦争に突入していく過程を理解する。		○		○	ｂｄ：軍の一部によるクーデタ(二・二六事件)が鎮圧された後に，かえって軍部の政治介入が強まったのはなぜか，事件後の軍内部の勢力配置の変化に注目して考察できたか。	授業中の質問に対する対応・グループ討論・発表など 課題・ノート提出 学年末考査
		２．重化学工業化と統制経済 ＊軍需が支えとなって日本経済が恐慌を脱出し，重化学工業化が進む一方，経済の全面に渡って国家統制が強化される過程を理解する。			○	○	ｃｄ：国民生活や文化の各方面にわたる国家統制の強まりを，具体的な事例に則して考察できたか。	
		３．第二次世界大戦と太平洋戦争 ＊日米交渉から開戦，緒戦段階の日本の優勢から米軍の全面的反攻，終戦に至る日米戦争の全過程を，戦争にともなう国民生活の全面的崩壊とともに整理する。		○	○	○	ｂｃｄ：なぜ日本はアメリカとの戦争に踏みきったのか，経済的背景を含め，総合的に考察することができたか。 空襲・沖縄戦・原爆投下などに加え，アジア各地での戦闘，占領地域での住民動員などにも注目できたか。	
		近代の追究 ○国際情勢と国民 ―移民問題と近代日本の外交― ＊近代日本の北米（ハワイ・カナダ・本土）移民の消長を，合衆国の移民政策や日米外交関係の変化から整理する。		○	○		ｂｃ：近代における国民生活と国際情勢の深い関わりを，適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して理解し，さらに，歴史的な見方や考え方を育てることができたか。	

3	第6章　占領下の日本	**第６章　占領下の日本** １．占領と改革 戦後の世界秩序を踏まえ，占領政策及び戦後の民主化政策とそれにともなう諸改革について，その経過と内容を理解する。 ＊戦後政治の動きを踏まえて，集大成となる日本国憲法制定の意義を理解する。		○		○	ｂｄ：労働三法・教育基本法の制定などを取り上げ，五大改革をはじめとするＧＨＱによる諸政策が，日本の国民の戦争に対する反省に支えられて実施されたことに気付くことができたか。 ｃｄ：女性参政権が認められ，政党政治が復活する中，主権在民・平和主義・基本的人権の尊重の３原則を中心とする日本国憲法が制定された経緯と意味を，国民生活の状況も踏まえて考察できたか。	授業中の質問に対する対応･グループ討論・発表など 課題･ノート提出 学年末考査
		２．冷戦の開始と講和 ＊東アジア情勢の変化を踏まえ，連合国による占領が終結し，日本が独立した意義を考える。 ＊連合国による日本の占領が終結したことと，その後の日米関係の継続について，様々な国の立場から考察する。	○	○		○ ○	ｂｄ：中華人民共和国の成立，朝鮮戦争の勃発，経済面では経済安定九原則，政治面では警察予備隊の新設に着目して，占領政策の転換について考察できたか。 ａｂｄ：サンフランシスコ平和条約の調印による日本の独立国としての主権回復の意義と，安全保障をアメリカに依存する日米安保条約の締結の意味を理解できたか	

	第７章　経済繁栄と保守長期政権	**第７章　経済繁栄と保守長期政権** １．55年体制 冷戦秩序の下での日本国内政治について，55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。		○		○	ｂｄ:保守合同による自由民主党の成立から経済成長を背景とした安定した保守政権の誕生に至るまでを，外交・政治・経済を踏まえて多面的･多角的に考察できたか。	
		冷戦構造に雪解けの状況が生まれる中，日本が国際社会に復帰したことについて，日本の国際連合への加盟，米・ソ・中国・韓国との関係に着目して，独立回復後の日本の動きを考察する。		○	○	○	ｂｃｄ:ＭＳＡ協定・新安保条約・日ソ共同宣言・日韓基本条約・ＬＴ貿易などを取り上げ，外交･政治の再編過程を把握できたか。	
		２．高度経済成長期の経済と社会 高度経済成長について，経済の国際化、技術革新などの側面に着目して考察する。		○	○	○	ｂｃｄ:産業構造の高度化などを踏まえ，日本の動きを考察できたか。	
		社会の変貌と経済成長がもたらした社会問題について考察する。	○		○	○	ａｃｄ：消費の拡大による豊かさの享受，核家族化，交通網の整備などによる都市化などを取り上げる一方，農村の過疎化や公害問題などの社会問題にも注目したか。	
		第２次石油危機を乗り越え，経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。	○	○		○	ａｃｄ：ドル=ショックや石油危機によるマイナス成長に対する政府の行財政改革について，身近な事例を取り上げ，考察できたか。経済大国への道には，国民の努力によって築かれた豊かさ，ＯＤＡなどの社会貢献の重要性，貿易摩擦や円高への対応などがあったことに着目できたか。	

3	第8章現代の世界と日本	**第８章　現代の世界と日本** １．冷戦の終結と日本 冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について，日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。		○		○	ｂｄ：冷戦終結後の東欧革命，55年体制が崩壊した政治状況，バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などを取り上げ考察できたか。	
		２．日本社会の変容 科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題などの日本の課題とそれに対する日本の役割を認識する。	○	○			ａｂ：原子力に対する安全性，国連平和維持活動への対応，経済不況に対する国内改革など，具体的な例をもとに理解することができたか。	
		現代からの探究 ○現代日本の農業問題を歴史的に考察してみよう 極端に低い食料自給率や農業人口の高齢化に見られる日本農業の危機の歴史的起源を，農地改革・高度成長・グローバリゼーションが日本農業にもたらした変化をたどることで理解する。		○	○		ｂｃ：戦後日本農業の変遷を国民経済・国際経済との関わりの中で大づかみに捉えるとともに，適切な主題を設定して，資料を活用して探究し，その解決に向けた考えを表現する活動を通して，歴史的な見方や考え方を身に付けることができたか。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。